

令和4年度 S特選コース

第2回 入学試験問題 (2月2日 午後)

社 会

注 意

- 1 この問題用紙は、試験開始の合図で開くこと。
- 2 問題用紙と解答用紙に受験番号・氏名を記入すること。
- 3 答えはすべて解答用紙に記入すること。
漢字で書くべき解答は、漢字で答えること。
- 4 印刷がわからない場合は申し出ること。
- 5 試験終了の合図でやめること。

受験 番号		氏 名	
----------	--	--------	--

東京都市大学等々力中学校

1 トシヤ君は近年の日本における豪雨災害に問題意識を持ち、授業内の探究活動において「日本に迫る豪雨災害の恐怖！」という題名でポスター発表を行うことにしました。次の【主題】Ⅰ～Ⅳは、トシヤ君が考えたポスター発表の主題です。【主題】Ⅰ～Ⅳについて後の問いに答えなさい。

【主題】

Ⅰ 豪雨災害が起きた時は？
～A 避難行動の重要性～

Ⅱ 防災教育の在り方
～B 自助と共助～

Ⅲ 豪雨災害による被害
～C 洪水の被害とD 洪水への対策～

Ⅳ 豪雨災害はなぜ起きるのか
～E 日本の気候と
F 都市開発の影響～

問1 トシヤ君が考えた【主題】を発表する際に適切な順番に並び替えたものとして、最も正しいものを、次の①～④から選びなさい。

- ① Ⅰ → Ⅱ → Ⅲ → Ⅳ
- ② Ⅳ → Ⅲ → Ⅰ → Ⅱ
- ③ Ⅲ → Ⅰ → Ⅱ → Ⅳ
- ④ Ⅳ → Ⅱ → Ⅰ → Ⅲ

問2 下線部Aについて、次の問いに答えなさい。

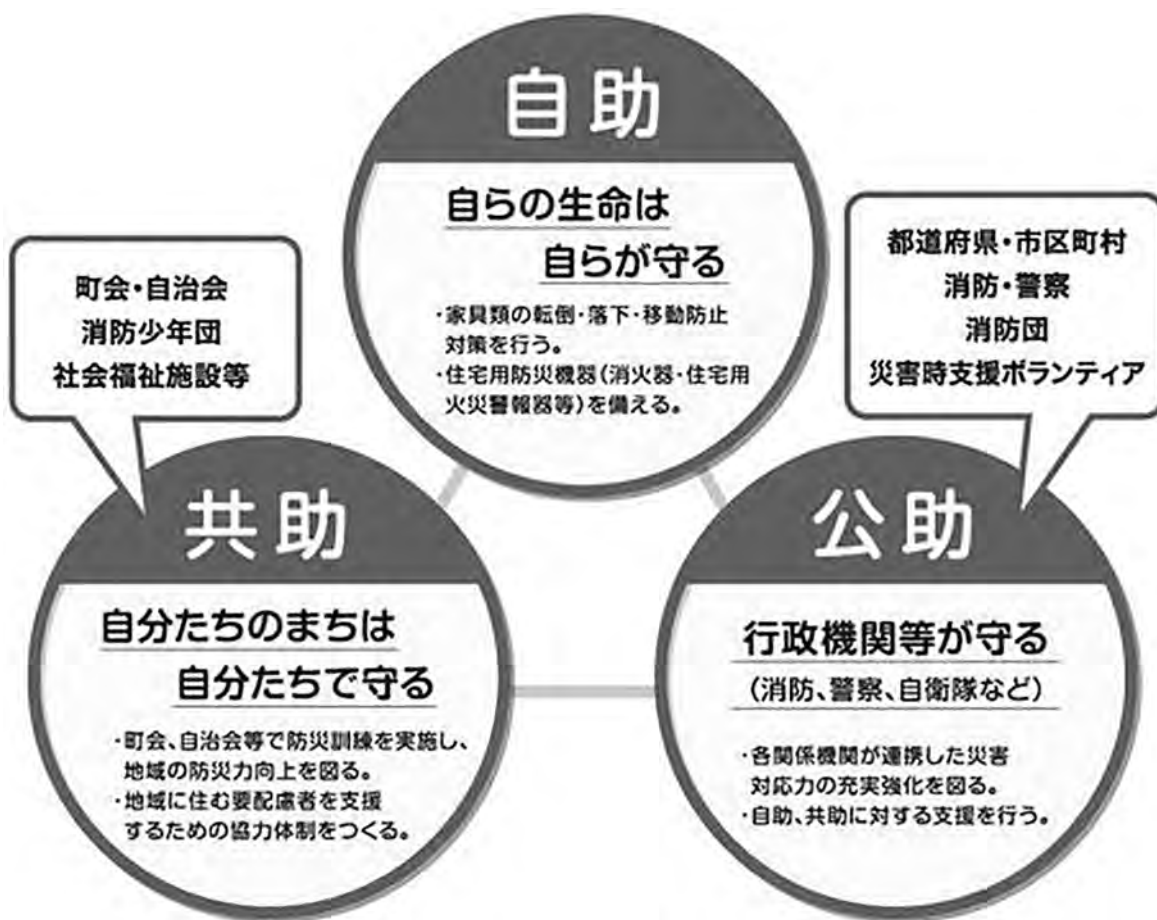
(1) 災害が起きた際に避難経路や避難場所を確認するために用いられる、主に自治体が発行している地図を何というか答えなさい。

(2) 豪雨災害にあった時の避難行動として正しいものを、次の①～④から選びなさい。

- ① 避難所では不便な生活が予想されるため、なるべく多くの物を自家用車で持ち出すとよい。
- ② 大雨で道路が冠水していることが予想されるため、靴は履いていても濡れてしまうので、裸足のまま避難するのがよい。
- ③ 一刻も早く避難する必要があるため、周囲のことは気にせず一人でも避難所に向けて避難するのがよい。
- ④ 大雨が続くときは、いつでも気象警報や災害の情報を聞き逃さないように、テレビ・ラジオを気にするようしておくとうい。

問3 下線部Bについて、次の[図]を参考にして後の問いに答えなさい。

[図] 自助・共助・公助のイメージ図



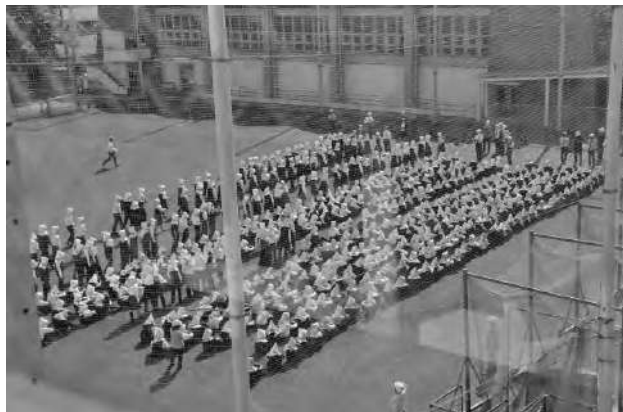
(東京消防庁HP)

(1) [図]を参考にしながら、次の[写真Ⅰ]・[写真Ⅱ]の行動は自助・共助・公助のいずれにあてはまるか答えなさい。

[写真Ⅰ]



[写真Ⅱ]



(本校HP 避難訓練の様子)

(2) 自助・共助・公助の防災教育の在り方について述べたものとして誤っているものを、次の①～④から選びなさい。

- ① 自助とは自らの生命を自分で守ることであり、日ごろから避難場所を確認しておくことや、災害の際の荷物をまとめておくことが必要である。
- ② 共助とは自分たちのまちを自分たちで守ることであり、日ごろからの近所づきあいを大事にして、いざという時に声を掛け合って避難すべきである。
- ③ 公助とは行政機関によって行われる支援であり、避難所の開設や被災者の生活再建への支援など、限られた予算と人員の中で被害を最小限にする努力が必要である。
- ④ 自助・共助・公助の中では公助が最も優先すべきことであり、警察や消防の指示があるまで避難行動をとるべきではない。

問4 下線部 C について、[写真Ⅲ] を参考にして、洪水の被害を受けにくい場所として正しいものを、次の [地図Ⅰ] 中の①～④から選びなさい。

[地図Ⅰ] 新潟県新潟市地形図



[写真Ⅲ] [地図Ⅰ] と同じ場所の航空写真



(地理院地図 一部改変)

問5 下線部Dについて、水害から集落を守るための堤防に囲まれた次の【写真Ⅳ】のような地区のことを何とよぶか答えなさい。

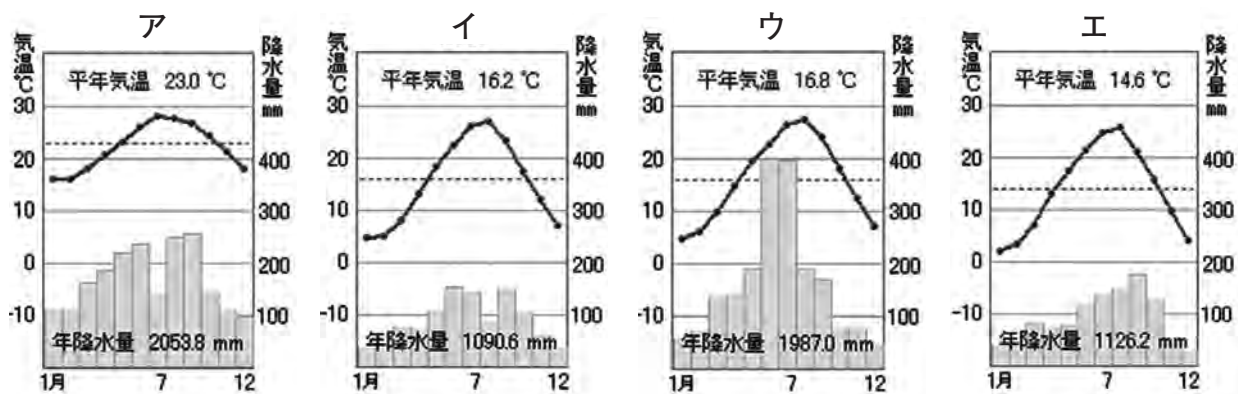
【写真Ⅳ】



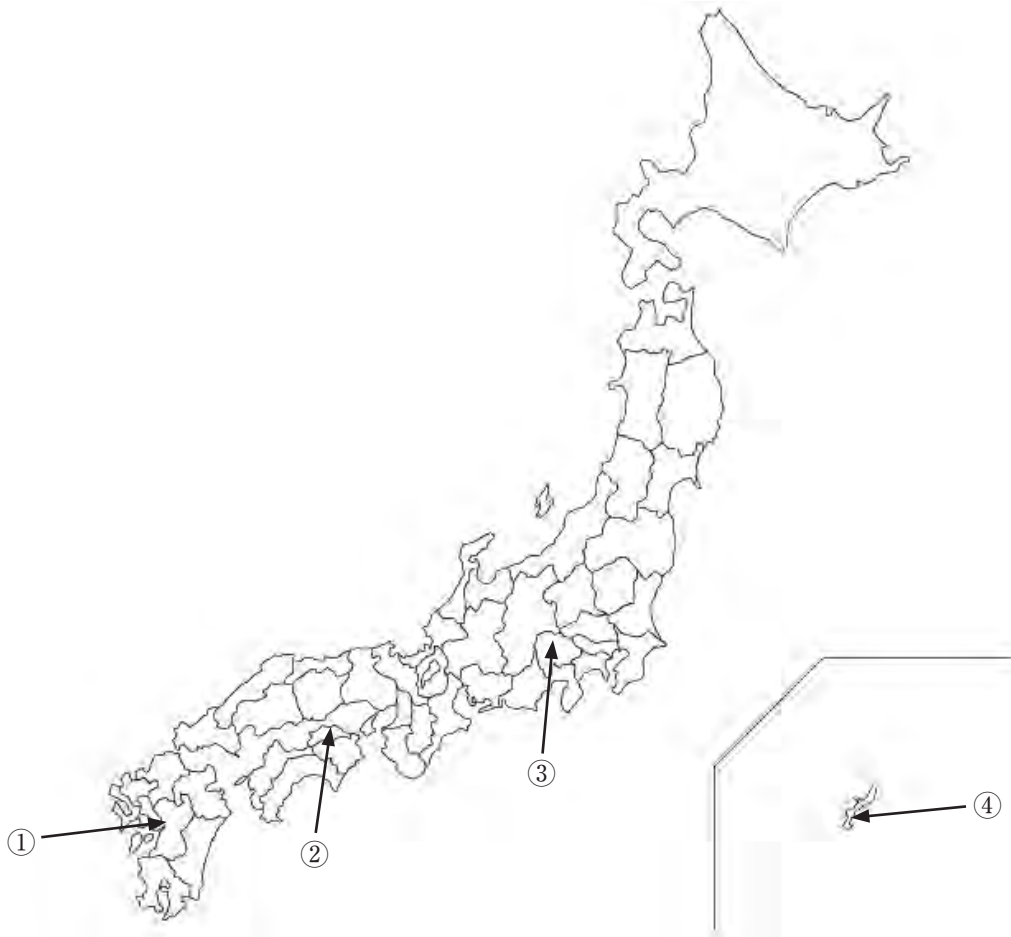
(帝国書院HP)

問6 下線部Eについて、次の【グラフ】ア～エは【地図Ⅱ】中の①～④の都市のいずれかの雨温図です。【グラフ】ウの雨温図の都市として正しいものを、【地図Ⅱ】中の①～④から選びなさい。

【グラフ】



[地図Ⅱ]



問7 下線部Fについて、都市開発によって自然災害が増大する例として誤っているものを、次の①～④から選びなさい。

- ① 都市化にともないコンクリートが増えることで、雨水が地面に染み込まず、河川を流れる水の量が増えた。
- ② 都市化を進めるために森林を伐採したため、森林の持つ保水機能が失われ、洪水が頻発するようになった。
- ③ 都市化にともなうヒートアイランド現象によって、ゲリラ豪雨が発生しやすくなり、ゲリラ豪雨による高潮被害が増えた。
- ④ 都市化を進めるために傾斜地の盛り土を無計画に行った結果、大雨による土砂崩れが発生しやすくなった。

2 次の会話文を読んで、後の問いに答えなさい。

タロウさん：新型コロナウイルスの感染拡大で外国との交流が減っていて、街に出ても外国人観光客がほとんどいないね。

シズカさん：いまは外国の人たちに、渡航をひかえてほしいね。

アユミさん：でもそうするとオリンピックもできないし、食卓に出ている美味しい肉やパンだって気軽に食べられなくなってしまう。原料は国内のものよりも中国など外国から輸入しているものが多いんだよ。

タロウさん：それに外国の人たちが来なければ現代の日本の発展はなかったのだし、簡単に外国の人に日本に来ないで欲しいとは言えないね。むしろ貿易のためにももっと来て欲しいね。

シズカさん：でも **A** 日本の主食の「米」は自給率がほぼ 100% だし無理して貿易する必要もないのじゃないかな。それに **B** 一時期は外国に占領されてしまった県だってあるよね。あまり来ないでほしいなあ。

アユミさん：なんだか **C** 幕末の攘夷思想みたいだね。占領と観光は違うし、それを言えばぼくたちだって外国から見たら外国人だし、理由があいまいな状況で「渡航をひかえてほしい」と言われたらショックだな。君は始皇帝の墓やパルテノン神殿などの世界遺産、オーロラなどの大自然を見てみたことはないのかい？

シズカさん：確かにそういった建物や自然を見てみたいけれども、外国との交流で実際によかったことなんてあったのかい。

タロウさん：それでは今まで学校で習った **D** 外国との歴史的交流を思い出してカードにまとめてみよう。

カード①

中国を支配したフビライは2度にわたって九州北部へ軍隊を派遣し日本を従わせようとした。

カード②

日本と中国が争いを乗り越えて手を取り合い、友好の証として中国からパンダが贈られた。

カード③

連合国が日本の軍隊の解散を要求し、日本政府がこれを黙殺して、アメリカ軍の新兵器が日本の都市に投下された。

カード④

日本と中国の間をあらゆる海賊をとりしまるみかえりに、中国皇帝から日本の元将軍に日本国王の称号が贈られた。

シズカさん：ほら。日本は外国から攻撃されたり、対等に見られず立場が低く見られたり散々じゃないか。

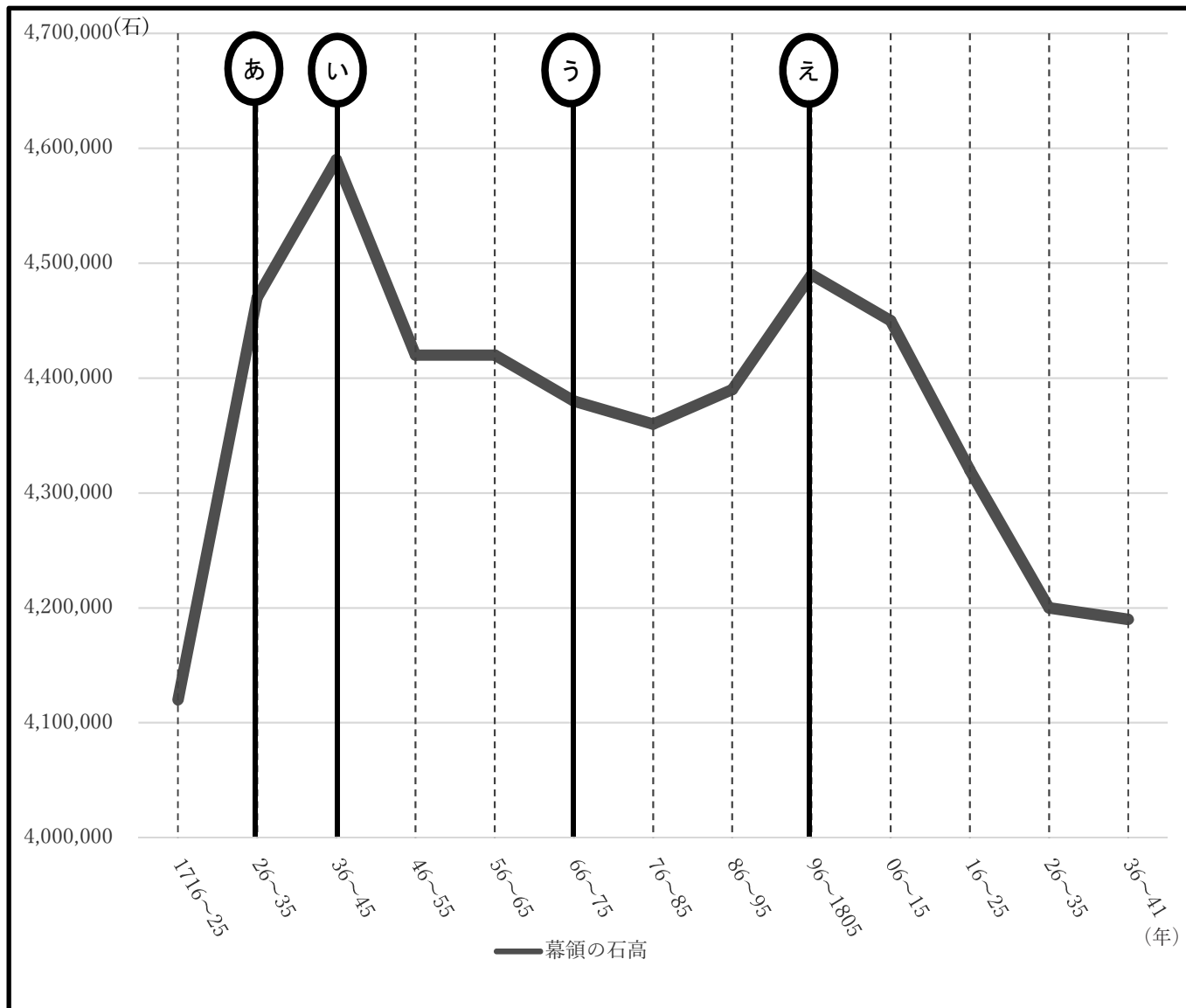
アユミさん：たしかに、そう言った面ばかりが目立つけど、お米だって外国から弥生時代に伝来したものだし、みんなの心の拠り所になる宗教では仏教もキリスト教も海外のものだよな。

タロウさん：それにぼくたちが今、使用している **E** ひらがなやカタカナだって元は中国の漢字だよな。食事の面でもイタリア料理や四川料理、フランス料理が食べられなかったらさびしいよね。何より諸外国が日本のものを買ってくれなかったら、もうからないじゃないか。貿易を盛んにする意味でも早く **F** 感染症の拡大が収束してくれないかなあ。

アユミさん：学校でも給食の時に使うついたてが配られて、**G** ごはんを食べる時も周囲に気をつけるようになったね。こうした取り組みが結びついて早く外国との交流が再び盛んになっていくといいね。

問1 下線部 A について、[グラフ] の㉖～㉚の期間の出来事を説明したものとして正しいものを、後の①～④から選びなさい。

[グラフ] 幕府の収入



(山川出版社「詳説 日本史図録」)

- ① ㉖の時期の将軍は徳川家光で、幕領の石高が増加する一方、品質の悪いお金をつくったため、物価が高くなり、人々の生活は苦しくなった。
- ② ㉗の時期の将軍は徳川吉宗で、新田開発をすすめたことで幕領の石高が増加した。
- ③ ㉘の時期の権力者は水野忠邦で、享保のききんが人々を苦しめたため、幕領の石高は減少した。
- ④ ㉚の時期の権力者は田沼意次で、彼は中国がアヘン戦争で敗北したことを知ると、鎖国して貨幣を重視する政策をとったため、幕領も年貢も減少し続けた。

問2 [写真I] は下線部 B の県において撮影されたものです。[写真I] について述べた文として誤っているものを、後の①～④から選びなさい。

[写真I]



(那覇市観光資源データベースHP)

- ① [写真I] がある県は、ペリーが日本に来たときに訪れている。
- ② [写真I] の門は、小渕恵三首相が決定したサミットを記念して作られた二千円札のデザインに採用された。
- ③ [写真I] の奥にある首里城は戦争で灰となり、のちに復元されたものの、2019年に火災で消失した。
- ④ [写真I] がある県は昭和39年に開催された東京オリンピックの前にアメリカ合衆国から日本へ返還された。

問3 下線部 C について、次の問いに答えなさい。

(1) 幕末にこうした思想が拡大した背景に物価の変動がありました。このことについて述べた文として正しいものを、次の①～④から選びなさい。

- ① 生糸の輸出が拡大して国内で品不足となり、物価が上昇した。
- ② 生糸の輸入が拡大して安い外国産の生糸が出回ったため、物価が下落した。
- ③ 綿花の輸出が拡大して国内で品不足となり、物価が上昇した。
- ④ 綿花の輸入が拡大して安い外国産の綿花が出回ったため、物価が下落した。

(2) 幕末の出来事について、次の①～④を古いものから年代順に並びかえたとき、3番目に古いものを選びなさい。

- ① 新政府軍によって会津藩が攻撃された。
- ② アメリカ合衆国との条約にもとづいて開港し、貿易が始まった。
- ③ 江戸幕府の15代将軍が二条城で大政奉還をおこなった。
- ④ 大老の井伊直弼が桜田門外で殺害された。

問4 下線部Dについて、文中のカード①～④を古いものから年代順に並びかえなさい。

問5 下線部Eのひらがなやカタカナが生まれた時期の文化を何といいますか。

問6 下線部Fについて、伝染病研究所の設立やペスト菌の発見で有名な人物は誰ですか。

問7 下線部Gに関する【写真Ⅱ】・【写真Ⅲ】について述べた文として正しいものを、後の①～④から選びなさい。



(かしはら探訪ナビHP)



(すぎなみ学倶楽部HP)

- ① 【写真Ⅱ】は奈良時代に活躍した武士の食卓で、ひとりでお膳ぜんを使用し牛肉や豚肉などの肉類がならんでいる。
- ② 【写真Ⅱ】は江戸時代に活躍した武士の食卓で、ひとりでお膳ぜんを使用し牛肉や豚肉などの肉類がならんでいる。
- ③ 【写真Ⅲ】は大正時代の食卓で、ひとりひとりが距離をとって食事をする工夫がなされている。
- ④ 【写真Ⅲ】は昭和時代の食卓で、家族がみんなで一緒に食事をする工夫がなされている。

3 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

2021年に開催されたA 東京オリンピックの参加選手のうち、女性が占める割合は48.8%と約半数であった。男女混合種目も新たに9つ追加され、男女そろって参加することが当たり前のように見えるが、1896年に開催された第1回近代オリンピックの参加選手は全員が男性であったようだ。

このような話はスポーツだけに限られたことではない。たとえばB 選挙に参加する権利も、C 好きな職業につく権利も、女性は持つことができなかった。これらは長い時間をかけて女性が手に入れてきた、大切な権利なのだ。そして近年ではD 同性カップルの気持ちを受けとめる動きも出てくるようになった。

新型コロナウイルスの感染拡大によって、その国が持つさまざまな弱点があぶり出されたのだとすれば、日本においてはE 性別によって引き起こされる格差の問題がその一つとして挙げられるだろう。こういう時代だからこそ、あらためてF 一人ひとりの個性を認め、人権を守る意識を持つことが不可欠である。

問1 下線部Aについて、たろうさんとじろうさんは、オリンピックの参加選手がどの国と地域からやってきたのかを調べました。次の会話文を読んで、後の問いに答えなさい。

たろう：今回のオリンピックに参加した国と地域の数は、205もあったんだって。

じろう：あれ、学校で世界の国の数は、（あ）と習った気がする。

たろう：インターネットで調べてみたらどうかな？

じろう：そうだね。こういう時は外務省のホームページがよさそうだね。

[資料]

▶ 世界の国の数：

196か国です。これは、現在、日本が承認している国の数である195か国に日本を加えた数です。最近では、ニウエ（2015年5月15日）、南スーダン（2011年7月9日）及びクック（2011年3月25日）を承認しました。

▶ 国連加盟国数：

■か国です。日本が承認している国のうち、バチカン、コソボ、クック及びニウエは国連未加盟です。他方、日本が承認していない北朝鮮は国連に加盟しています。

※設問に関する部分を黒塗りしている
(外務省HP)

じろう：なるほど。学校で習ったのは、日本を含む国連加盟国数だったんだね。

たろう：このホームページから、（い）ということも言えるね。

(1) 文中の (あ) にあてはまる数を、数字で答えなさい。

(2) 文中の (い) にあてはまる説明として正しいものを、[資料]を参考にして、次の①～④からすべて選びなさい。

- ① ニウエは、日本は国として承認しているが、国連には加盟していない。
- ② 南スーダン¹は、日本は国として承認しているが、国連には加盟していない。
- ③ バチカン²は、日本は国として承認しているが、国連には加盟していない。
- ④ 北朝鮮は、日本は国として承認しており、国連にも加盟している。

問2 下線部 B について、次の問いに答えなさい。

(1) 日本で女性に初めて選挙権が認められた時期として最も近いものを、次の①～④から選びなさい。

- ① 1889 年の大日本帝国憲法制定
- ② 1925 年の普通選挙法制定
- ③ 1945 年の第二次世界大戦終戦
- ④ 1985 年の女子差別撤廃^{てっばい}条約締結

(2) 現在日本の国会議員における女性の比率は、国際的に見て低水準となっています。この割合を高めるために参考となるのが、海外で導入されている「クオータ制」です。この説明として誤っているものを、次の①～④から選びなさい。

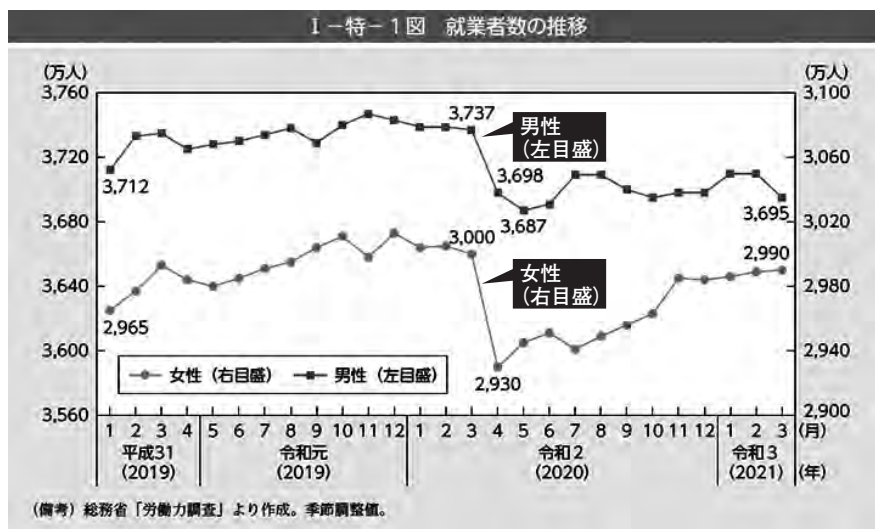
- ① 政党に候補者を男女半分ずつとするように義務づける。
- ② 有権者に一定数女性に投票するよう義務づける。
- ③ 比例名簿の順位を男女交互とする。
- ④ 議席を一定数女性に割り振る。

問3 下線部 C について、職場における男女の不平等をなくすことを目指し、1985年に制定された法律の名称を答えなさい。

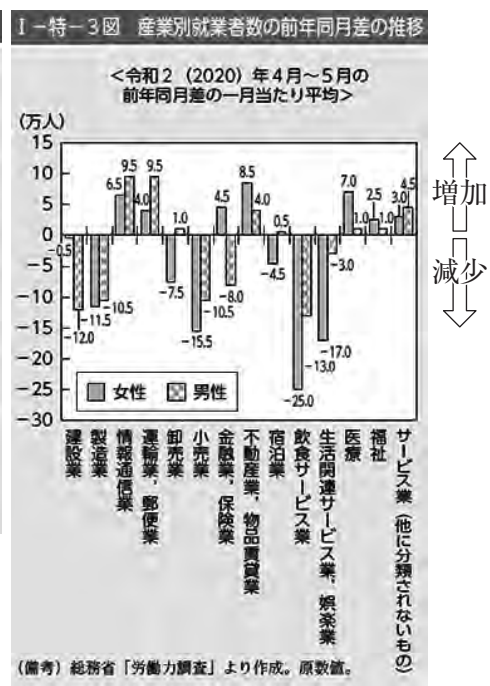
問4 下線部 D について、2015年、東京都世田谷区で導入された「世田谷区(う)^{せんせい}宣誓」の取り組みは、同性カップルがお互いをパートナーとして認め合う宣誓書を発行するものです。このような取り組みは近年各地に広がりを見せています。(う)にあてはまる語句を、カタカナ8字で答えなさい。

問5 下線部Eについて、次の[グラフI]は男性と女性の働く人数(就業者数)の推移を、[グラフII]は働く人数を職業ごとに分けて、前の年の同じ月との変化を示したものです。これらの資料から読み取れることとして誤っているものを、次の①～④からすべて選びなさい。

[グラフI] 就業者数の推移



[グラフII] 産業別就業者数の前年同月差の推移



(内閣府男女共同参画局「令和3年版男女共同参画白書」)

- ① 男性・女性ともに、令和2(2020)年の3月～4月にかけて就業者数が減少した。
- ② 男性の令和3(2021)年3月の就業者数は、2年前となる平成31(2019)年3月の数まで回復した。
- ③ 女性は令和2(2020)年4月～5月にかけて職業ごとに見ると、人数の減少が最も多かった仕事は「飲食サービス業」にあたる人であった。
- ④ 男性・女性ともに令和2(2020)年4月～5月にかけて職業ごとに見ると、「宿泊業」にあたる人が減少した。

問6 下線部Fについて、このような社会を実現するための行動として正しいものを、次の①～④から選びなさい。

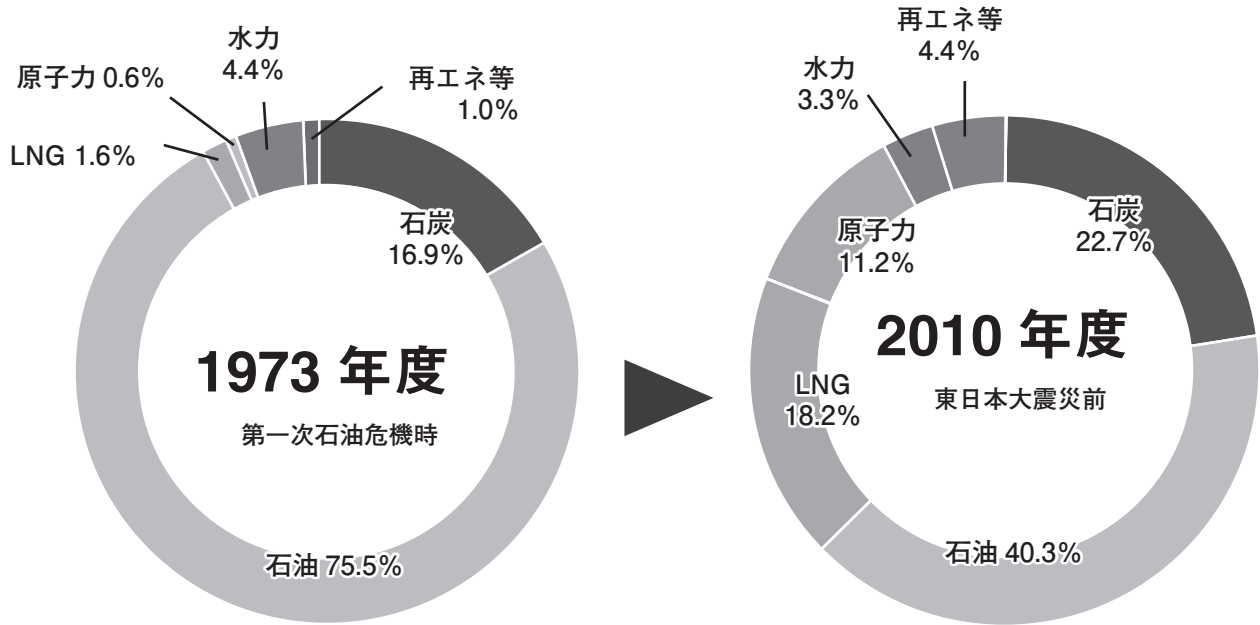
- ① 海外から帰国した生徒は日本の環境に慣れるため、一定期間英語での会話をさせないようにする。
- ② 生まれたときから髪の色が茶色の生徒は周りに合わせるため、髪の毛を黒く染めさせるようにする。
- ③ 男性が安心して働けるよう、男性のみ採用する就職枠を設定する。
- ④ 女性が安心して出産できるよう、男女ともに育児休暇を設定する。

(問題は次のページに続く)

4 日本のエネルギー政策について、次の問いに答えなさい。

問1 [グラフ] の1973年度と2010年度を比較し、なぜこのようなエネルギー政策の転換が行われたのか、[年表] も参考にして40字以内で説明しなさい。

[グラフ] 日本の一次エネルギー供給構成の推移



(経済産業省・資源エネルギー庁)

[年表]

年	出来事
1948年	第1次中東戦争開戦
1956年	第2次中東戦争開戦
1967年	第3次中東戦争開戦
1973年	第4次中東戦争開戦
1980年	イラン＝イラク戦争開戦

問2 [資料Ⅰ] の下線部にある2050年におけるカーボンニュートラル、脱炭素社会を実現するため、日本のエネルギー政策として、どのような取り組みを実施できるでしょうか。国民に広くエネルギーを供給することを考慮して、[グラフ]と[資料Ⅱ]も参考にして答えなさい。

[資料Ⅰ] 第203回国会における菅内閣総理大臣所信表明演説

菅政権では、成長戦略の柱に経済と環境の好循環を掲げて、グリーン社会の実現に最大限注力してまいります。我が国は、2050年までに、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、すなわち2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指すことを、ここに宣言いたします。

(首相官邸HP)

[資料Ⅱ] 各エネルギーの特徴

	安定供給	経済効率	環境適合	安全性
	中東依存度	発電コスト (円/kWh)	CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂ /kWh)	
石油	88.4%	30.6~43.4	0.70	—
LNG	17.8%	13.7	0.38 (複合)	—
石炭	0%	12.3	0.86	—
原子力	0%	10.1~	0	安全性に対する懸念
再エネ	0%	[太陽光(住宅)] 29.4 [風力] 21.6	0	—

(電力中央研究所「日本における発電技術のライフサイクルCO₂排出量総合評価」)

